

平成 2 5 年度
公益財団法人宇部市常盤動物園協会
決算書

(平成 25 年 1 月 4 日～12 月 31 日)

目 次

報告事項

事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 頁～4 頁

議決事項

第 1 号議案

貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 頁

正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6 頁～7 頁

財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8 頁

参考資料

正味財産増減計算書内訳表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9 頁～10 頁

財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11 頁～13 頁

監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14 頁

平成 25 年度事業報告

自 平成 25 年 1 月 4 日
至 平成 25 年 12 月 31 日

平成 25 年度の宇部市常盤動物園協会の事業推進にあたっては、動物施設の保守・飼育動物の良好な管理を主業務とし、動物の展示によって知識や愛護思想の普及をはかり、命の大切さを身近に感じてもらうことを目的に、本年度事業計画に基づき次のとおり諸事業を実施した。

記

1. 公益目的事業について

(1) 動物の知識及び愛護思想の普及に関する事業。(自主事業)

動物の知識や愛護思想の普及を図るため、教育の場として幼児・児童・生徒等を対象に以下の事業を行った。

○動物ガイド

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・園内掲示

対象者：来園者全般（約 100 人）

実施日：春休み・GW・夏休みを中心とした土日祝日

参加料：無料

内容：各動物のガイドと共に、常盤公園動物園の歴史からリニューアル計画についての説明。

体制：獣医師（市職員）1 人・協会職員 7 人で実施

財源：当協会の自主事業

○動物環境学校ミニ

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・広報紙・園内掲示

対象者：県内の小学生及び中学生 10 名

実施日：6 月 1 日・7 月 14 日

参加料：無料

内容：講師と共に、ときわ公園内に生息する昆虫や水棲生物を捕獲・観察。

体制：専門家 1 人・協会職員 7 人で実施

財源：当協会の自主事業

○ときわ公園動物環境学校

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・広報紙・園内掲示

対象者：県内の小学生及び中学生 40 名

実施日：7 月 25 日・8 月 10 日

参加料：200 円

内容：園内のサルのエンリッチメント（幸せ）について実演を交え考える。
また、動物の紹介プレートを作成する。（プレートは園内で掲示）
体制：協会職員 2 人で実施
財源：当協会の自主事業

○夏休み宿題大作戦

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・広報紙・園内掲示
対象者：市内の小学生 12 名
実施日：7 月 27 日・8 月 2 日
参加料：無料
内容：ワークシートを使い動物の特徴などを学習。
夏休みの宿題にも活用してもらおう。
体制：協会職員 2 人で実施
財源：当協会の自主事業

○えさやり体験

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・園内掲示
対象者：来園者全般（72 人）
実施日：4 月 21 日
参加料：100 円
内容：ボンネットモンキーのガイドに続きえさの販売・えさやり。
体制：獣医師（市職員）1 人・協会職員 5 人で実施
財源：当協会の自主事業

○バックヤードツアー

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・広報紙・園内掲示
対象者：来園者全般（約 400 人）
実施日：4 月 14 日・5 月 5 日
参加料：無料
内容：ときわ丸内に入り、近い位置からボンネットモンキーの観察。
飼育員の説明を受ける。（写真撮影も可）
体制：獣医師（市職員）1 人・協会職員 5 人で実施
財源：当協会の自主事業

○動物ねんど作品コンクール

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・広報紙・園内掲示
市内の幼・保育園及び小学校への実施要項の配布。
対象者：山口県内の幼稚園・保育園児及び小学生 106 人
実施日：8 月 11 日
参加料：粘土の購入（ひとつ 150 円・4 つまで）
内容：ときわ公園内の動物を粘土で作る。
審査方法：専門家（市教育委員会の推薦）1 人・協会職員 3 人で実施
体制：専門家（宇部市嘱託職員）・協会職員 3 人で実施

財源：当協会の自主事業

○動物絵画作品コンクール

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ・広報紙・園内掲示
市内の幼・保育園及び小学校への実施要項の配布。

対象者：山口県内の幼稚園・保育園児及び小学生 122 人

実施日：7月13日～9月16日

参加料：無料

内容：動物（ときわ公園内に限らない）を描く。

体制：専門家（市教育委員会の推薦）1人・協会職員3人で実施

財源：当協会の自主事業

尚、従来行ってきた校外学習としてのインターンシップ及び職場体験学習の受入も要請に応え、継続して実施した。

案内方法：当協会及び宇部市のホームページ

対象者：県内の高校生・専門学生・大学生等（体験学習は市内の中学生）

体制：協会職員4名

財源：当協会の自主事業

(2) 動物の飼養管理（宇部市の委託事業）

平成25年12月31日現在22種・156点の動物を良好な状態で展示できるように日常の清掃・給餌・観察・記録に努め、宇部市と連携しながら獣医師の指導を受け、飼育動物の健康保持・動物感染症の予防対策を講じた。また飼育施設及び観覧施設の点検修理、植栽・花壇整備・清掃により良好で適正な飼育環境を維持し、来園者に快適な観覧環境の提供及び利便性の向上に努めた。

対象者：来園者

体制：獣医師3名（市職員1名・開業医2名）・協会職員全員で実施

財源：業務委託料（宇部市の委託事業）

(3) 動物種の保全に関する調査研究（自主事業）

飼育動物の過去の飼育・繁殖データを分類・整理し、それを日常の業務に生かし、飼育繁殖技術を高め、またその成果を動物展示を通じて一般入園者の観覧に供するとともに、当協会が加盟する（公社）日本動物園水族館協会を通じ全国の各動物園共有の技術とすることに努めた。

体制：獣医師（市職員）1名・当協会職員7名で実施

財源：当協会の自主事業

(4) 野生傷病鳥獣保護事業（山口県の委託事業）

県内唯一の鳥獣保護センターとして野生の傷病鳥獣の保護・自然復帰を目的とし、収容鳥獣の治療・リハビリを行った。またこの実績・成果を山口県野生生息調査団の会議において報告し、今後の事業の進展を図るべく努めた。

なお、野生の傷病鳥獣の保護数は下記のとおりである。

区分	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減
哺乳類	4 種 9 点	5 種 19 点	Δ1 種 Δ10 点
鳥 類	18 種 81 点	24 種 66 点	Δ6 種 15 点
計	22 種 90 点	29 種 85 点	Δ7 種 5 点

※11 月 1 日から翌年 5 月 31 日の間は、飼育動物への鳥インフルエンザ感染症予防のため、鳥類の保護受入は中止している。

体制：獣医師（市職員）1 名、当協会職員 7 名で実施

財源：傷病鳥獣保護業務委託料（山口県からの委託事業）

2. 収益事業について

(1) 商品販売（自動販売機）業務

売店での商品販売は、平成 25 年 3 月をもって終了した。なお、現在は民間業者に経営が引き継がれている。

また、園内各所に設置されている自動販売機での販売は引き続き行った。自動販売機の販売手数料収入である売店委託収入については、下記のとおりである。

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減
商品売上収入	874,000 円	10,563,501 円	Δ 9,689,501 円(Δ 91.7%)
売店委託収入	3,782,770 円	4,391,583 円	Δ 608,813 円(Δ 13.9%)

(2) ときわミュージアム熱帯植物管理業務

平成 25 年 4 月からは管理業務が宇部市へ移管されたことにより、遊園協会の管理運営は 1 月から 3 月までとなったが、従来通り熱帯植物の栽培に関する業務等を実施し、業務の引継を行った。

(3) ときわレストハウス管理業務

平成 25 年度の事業計画どおり、宇部市の委託事業であるレストハウスの管理業務は、平成 25 年 3 月末をもって終了した。4 月以降の管理業務は宇部市へ移管された。

(4) 駐車場管理業務

常盤公園の駐車場施設への管理業務として、日々の売上等の集計、駐車料金回収及び宇部市への報告と納付、日常の入出庫のトラブル対応、多客時の対応を行った。

3. 法人事業について

理事会・評議員会等に関する業務を行うと共に人事・経理・総務等の業務を行った。

貸借対照表
平成 25年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,540,481		
未収金	516,760		
仮払金	172,779		
流動資産合計	62,230,020		
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(基)	10,000,000		
基本財産合計	10,000,000		
(2)特定資産			
退職給付引当資産	10,208,755		
特定資産合計	10,208,755		
(3)その他固定資産			
施設	17,489,442		
備品	4,354,225		
リース資産	1,340,235		
電話加入権	56,897		
繰延費用	50,951		
その他固定資産合計	23,291,750		
固定資産合計	43,500,505		
資産合計	105,730,525		
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	4,628		
未払金	6,254,547		
未払法人税等	71,000		
未払消費税等	2,983,300		
預り金	6,095,640		
仮受金	1,633,913		
流動負債合計	17,043,028		
2. 固定負債			
長期末払金	1,965,600		
退職給付引当金	9,892,088		
役員退職慰労引当金	316,667		
固定負債合計	12,174,355		
負債合計	29,217,383		
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)		
(うち特定資産への充当額)	-		
正味財産合計	76,513,142		
負債及び正味財産合計	105,730,525		

※分ち決算のため、前年度の表示をしておりません。

正味財産増減計算書

平成 25年 1月 4日 から平成 25年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,000		
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,691		
事業収益			
施設管理受託事業収益	112,619,013		
野生鳥獣保護受託事業収益	1,001,400		
自動販売機事業収益	3,782,770		
売店事業収益	874,000		
事業収益計	118,277,183		
雑収益			
受取利息	13,038		
雑収益	609,836		
雑収益計	622,874		
経常収益計	118,904,748		
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	131,273		
仕入高	610,503		
役員報酬	2,606,730		
給料	29,959,596		
諸手当	10,870,626		
臨時雇賃金	2,292,171		
退職給付費用	1,317,411		
福利厚生費	7,120,068		
旅費交通費	231,575		
通信運搬費	767,708		
減価償却費	2,548,222		
消耗什器備品費	496,477		
消耗品費	4,776,873		
修繕費	1,110,235		
印刷製本費	18,900		
燃料費	918,217		
光熱水料費	8,359,615		
賃借料	461,211		
保険料	694,912		
諸謝金	30,000		
租税公課	3,115,434		
支払負担金	245,500		
委託費	16,620,630		
広告料	15,750		
手数料	381,685		
飼料費	7,076,948		
会議費	58,900		
使用料	506,106		
雑費	104,746		
事業費計	103,448,022		
管理費			
役員報酬	747,682		
給料	1,801,222		
諸手当	653,561		
臨時雇賃金	265,180		
退職給付費用	184,153		
福利厚生費	535,919		
会議費	2,205		
交際費	243,259		
旅費交通費	1,695		
通信運搬費	65,450		
減価償却費	524,414		

消耗品費	148,245		
修繕費	89,853		
印刷製本費	15,855		
燃料費	58,426		
光熱水料費	197,231		
賃借料	157,530		
保険料	51,268		
諸謝金	441,000		
租税公課	362,266		
支払負担金	198,600		
支払寄付金	10,000		
広告料	41,800		
委託費	940,138		
手数料	105,115		
使用料	28,673		
雑費	5,941		
管理費計	7,876,681		
経常費用計	111,324,703		
評価損益等調整前当期経常増減額	7,580,045		
当期経常増減額	7,580,045		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
備品売却益	84,999		
経常外収益計	84,999		
(2) 経常外費用			
その他の経常外費用			
固定資産除却損	1,745,171		
経常外費用計	1,745,171		
当期経常外増減額	△ 1,660,172		
税引前当期一般正味財産増減額	5,919,873		
法人税、住民税及び事業税	71,000		
当期一般正味財産増減額	5,848,873		
一般正味財産期首残高	70,664,269		
一般正味財産期末残高	76,513,142		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	76,513,142		

※分ち決算のため、前年度の表示をしておりません。

財 産 目 録
平成 25年 12月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	2,311,084
	普通預金	普通預金 山口銀行 宇部支店	運転資金	59,229,397
	未収金		未収手数料等	516,760
	仮払金		労働保険料等	172,779
流動資産合計				62,230,020
(固定資産) 基本財産	定期預金(基)	定期預金 山口銀行 宇部支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
	特定資産 その他固定資産	退職給付引当資産	職員退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の引当資産として積み立てている。	10,208,755
		施設 備品	普通預金 山口銀行 宇部支店 動物舎他 車両5台、什器他	公益目的事業で使用している。 公益目的事業、収益事業等及び管理業務で使用している。
	リース資産	電話設備	公益目的事業、収益事業等及び管理業務で使用している。	1,340,235
	電話加入権		公益目的事業、収益事業等及び管理業務で使用している。	56,897
	繰延費用	石炭記念館		50,951
固定資産合計				43,500,505
資産合計				105,730,525
(流動負債)	買掛金		収益事業の仕入代金	4,628
	未払金		各会計区分における費用の未払金	6,254,547
	未払法人税等			71,000
	未払消費税等			2,983,300
	預り金 仮受金	宇部市 職員	駐車場利用料金の預り金 源泉所得税、市県民税、社会保険料	6,095,640 1,633,913
流動負債合計				17,043,028
(固定負債)	長期未払金			1,965,600
	退職給付引当金	職員	公益目的事業、収益事業等及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付引当金である。	9,892,088
	役員退職慰労引当金	役員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役員の役員退職慰労引当金である。	316,667
固定負債合計				12,174,355
負債合計				29,217,383
正味財産				76,513,142

正味財産増減計算書内訳表

平成 25年 1月 4日 から平成 25年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	3,000	0	0	0	3,000
特定資産運用益					
特定資産受取利息	1,691	0	0	0	1,691
事業収益					
施設管理受託事業収益	84,311,955	20,461,516	7,845,542	0	112,619,013
野生鳥獣保護受託事業収益	1,001,400	0	0	0	1,001,400
自動販売機事業収益	0	3,782,770	0	0	3,782,770
売店事業収益	0	874,000	0	0	874,000
事業収益計	85,313,355	25,118,286	7,845,542	0	118,277,183
雑収益					
受取利息	9,817	3,221	0	0	13,038
雑収益	72,400	533,466	3,970	0	609,836
雑収益計	82,217	536,687	3,970	0	622,874
経常収益計	85,400,263	25,654,973	7,849,512	0	118,904,748
(2) 経常費用					
事業費					
期首たな卸高	0	131,273	0	0	131,273
仕入高	0	610,503	0	0	610,503
役員報酬	2,606,730	0	0	0	2,606,730
給料	27,356,313	2,603,283	0	0	29,959,596
諸手当	9,926,043	944,583	0	0	10,870,626
臨時雇賃金	1,269,041	1,023,130	0	0	2,292,171
退職給付費用	1,278,036	39,375	0	0	1,317,411
福利厚生費	6,408,061	712,007	0	0	7,120,068
旅費交通費	230,936	639	0	0	231,575
通信運搬費	317,659	450,049	0	0	767,708
減価償却費	2,124,009	424,213	0	0	2,548,222
消耗什器備品費	496,477	0	0	0	496,477
消耗品費	3,711,908	1,064,965	0	0	4,776,873
修繕費	858,111	252,124	0	0	1,110,235
印刷製本費	0	18,900	0	0	18,900
燃料費	751,179	167,038	0	0	918,217
光熱水料費	7,903,385	456,230	0	0	8,359,615
賃借料	412,827	48,384	0	0	461,211
保険料	451,325	243,587	0	0	694,912
諸謝金	30,000	0	0	0	30,000
租税公課	2,450,467	664,967	0	0	3,115,434
支払負担金	245,000	500	0	0	245,500
委託費	8,169,250	8,451,380	0	0	16,620,630
広告料	15,750	0	0	0	15,750
手数料	367,300	14,385	0	0	381,685
飼料費	7,076,948	0	0	0	7,076,948
会議費	58,900	0	0	0	58,900
使用料	231,144	274,962	0	0	506,106
雑費	102,505	2,241	0	0	104,746
事業費計	84,849,304	18,598,718	0	0	103,448,022
管理費					
役員報酬	0	0	747,682	0	747,682
給料	0	0	1,801,222	0	1,801,222
諸手当	0	0	653,561	0	653,561
臨時雇賃金	0	0	265,180	0	265,180
退職給付費用	0	0	184,153	0	184,153
福利厚生費	0	0	535,919	0	535,919
会議費	0	0	2,205	0	2,205
交際費	0	0	243,259	0	243,259
旅費交通費	0	0	1,695	0	1,695
通信運搬費	0	0	65,450	0	65,450
減価償却費	0	0	524,414	0	524,414
消耗品費	0	0	148,245	0	148,245
修繕費	0	0	89,853	0	89,853
印刷製本費	0	0	15,855	0	15,855
燃料費	0	0	58,426	0	58,426
光熱水料費	0	0	197,231	0	197,231
賃借料	0	0	157,530	0	157,530
保険料	0	0	51,268	0	51,268
諸謝金	0	0	441,000	0	441,000
租税公課	0	0	362,266	0	362,266
支払負担金	0	0	198,600	0	198,600
支払寄付金	0	0	10,000	0	10,000
広告料	0	0	41,800	0	41,800
委託費	0	0	940,138	0	940,138
手数料	0	0	105,115	0	105,115

使用料	0	0	28,673	0	28,673
雑費	0	0	5,941	0	5,941
管理費計	0	0	7,876,681	0	7,876,681
経常費用計	84,849,304	18,598,718	7,876,681	0	111,324,703
評価損益等調整前当期経常増減額	550,959	7,056,255	△ 27,169	0	7,580,045
当期経常増減額	550,959	7,056,255	△ 27,169	0	7,580,045
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産売却益					
備品売却益	84,999	0	0	0	84,999
経常外収益計	84,999	0	0	0	84,999
(2) 経常外費用					
その他の経常外費用					
固定資産除却損	1,352,927	171,133	221,111	0	1,745,171
経常外費用計	1,352,927	171,133	221,111	0	1,745,171
当期経常外増減額	△ 1,267,928	△ 171,133	△ 221,111	0	△ 1,660,172
他会計振替額	2,734,494	△ 2,734,494	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,017,525	4,150,628	△ 248,280	0	5,919,873
法人税、住民税及び事業税	0	71,000	0	0	71,000
当期一般正味財産増減額	2,017,525	4,079,628	△ 248,280	0	5,848,873
一般正味財産期首残高	44,059,759	21,157,447	5,447,063	0	70,664,269
一般正味財産期末残高	46,077,284	25,237,075	5,198,783	0	76,513,142
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	46,077,284	25,237,075	5,198,783	0	76,513,142

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①施設・備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。

②リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

②役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給基準に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金 (基)	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産 (特)	8,014,934	3,112,155	918,334	10,208,755
小 計	8,014,934	3,112,155	918,334	10,208,755
合 計	18,014,934	3,112,155	918,334	20,208,755

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金 (基)	10,000,000	0	10,000,000	—
小 計	10,000,000	0	10,000,000	—
特定資産				
退職給付引当資 産 (特)	10,208,755	0	0	10,208,755
小 計	10,208,755	0	0	10,208,755
合 計	20,208,755	0	10,000,000	10,208,755

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
施設	27,324,505	9,835,063	17,489,442
備品	11,662,208	7,307,983	4,354,225
リース資産	1,425,060	84,825	1,340,235
繰延資産	2,500,000	2,449,049	50,951
合計	42,911,773	19,676,920	23,234,853

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

10. 重要な後発事象

該当なし。

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金（基）	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産（特）	8,014,934	3,112,155	918,334	10,208,755
	特定資産計	8,014,934	3,112,155	918,334	10,208,755
その他固定資産	施設	12,387,718	7,381,500	2,279,776	17,489,442
	備品	4,090,414	1,801,513	1,537,702	4,354,225
	リース資産	859,950	1,425,060	944,775	1,340,235
	電話加入権	56,897	0	0	56,897
	繰延費用	106,506	0	55,555	50,951
	その他固定資産計	17,501,485	10,608,073	4,817,808	23,291,750

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,508,858	1,301,564	918,334	0	9,892,088
役員退職慰労引当金	116,667	200,000	0	0	316,667

監査報告書

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
会長 末次 宣正 殿

平成 26 年 2 月 17 日

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
監事 柳上 俊英

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
監事 福本 幸三

私たち監事は、平成 25 年 1 月 4 日から平成 25 年 12 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。